

Injury Alert (傷害速報) 類似事例

テーブルのスリット状の脚部による膝部圧迫 (No. 5 計測器による大腿部圧迫の類似事例1)

事 例	年齢：2歳 11か月 性別：女 体重：13.5kg 身長：89 cm	
傷害の種類	圧迫、絞扼	
原因対象物	ダイニングテーブルのスリット状の脚	
臨床診断名	右膝の絞扼、内出血	
医 療 費	救急隊要請のみ	
発 生 状 況	発生場所	自宅
	周囲の人 ・状況	父、母、子2人(2歳、1歳)
	発生年月 日・時刻	2013年8月13日 午前7時20分
	発生時の 詳しい様子 と経緯	何気ない、いつもの朝であった。もうすぐ3歳の娘が身を乗り出しながら、ダイニングテーブル上のおもちゃで遊んでいた。片足は床につきながら、もう片足を屈曲させていた。突然、痛いと言いき出した。右膝がテーブル脚のスリット(木製の格子)に嵌まり込み、赤く浮腫んでいた(図1)。どう引っ張っても外れず、膝はどんどん腫れあがり紫色に変色した。父親が必死に、たまたま購入してあった簡易ノコギリでスリットを15分かけて切断した(写真1、2)。その間に救急隊も要請した。娘の膝は救急隊到着前に脱出した。
治療経過と予後	幸い内出血程度(写真3、4)で済み、受診の必要もないと判断し、娘は1時間後には歩き始めた。 子どもの膝の横幅の内径(膝蓋骨)は約4cm、外径(大腿骨遠位端)は約8cmであった。テーブルは、高さが70cm、テーブルの台の端から脚部までの水平距離は約8cm、テーブルの脚と脚の間隔は5cmであった。	



図1



写真 1



写真 2



写真 3



写真 4